

祝 辞



一般社団法人日本技術者教育認定機構 会長 木村 孟

日本技術士会の創立 60 周年にあたり、心からのお祝いを申し上げます。

近年の国際化により技術者がそれぞれの国境を越えて仕事をせざるを得ない時代が到来しました。しかし今、日本の技術者にそれに応えられるような技術者教育がなされてきたか、社会に出た後継続研鑽をしてきたかが厳しく問われています。日本技術者教育認定機構（JABEE）は 1999 年に日本の技術者教育の改善と教育の国際同等性の確保を目的に設立され、以来、大学の理学部、農学部の一部の分野、工学部、高専の専攻科等の高等教育機関における技術者教育プログラムの認定を行っています。海外では、技術士会や工学会のなかに技術者教育認定部門をおいている国もあれば、アメリカ合衆国、韓国、台湾のように、別組織で認定を行っている国もあります。日本は後者のグループに属しますが、日本技術士会は JABEE 設立当初からのパートナーであり、理事会への参加をはじめ、各種委員会に参画して頂くなど多大のご協力をいただいております。また、JABEE 認定審査には審査員として多くの技術士が参加されています。この場をお借りして深くお礼申し上げます。

技術者教育認定の国際的枠組みであるワシントン協定、技術士認定の国際的枠組みである EMF (Engineering Mobility Forum)、PEC Engineers など 6 協定からなる IEA (International Engineering Alliance) という連合体があります。JABEE はワシントン協定の加盟団体、日本技術士会は EMF の加盟団体です。IEA は絶えずその思想、理念の改善を行っておりますが、そのひとつが Graduate Attributes & Professional Competencies です。Graduate Attributes は JABEE に、Professional Competencies は技術士会に関係します。社会が必要とする技術者の質、それを産み出すための教育の質は密接に関係しています。ある国の技術士団体が EMF に加盟するには、その国に技術者教育認定団体が存在し、それがワシントン協定の加盟団体になっていることが条件となっています。今後も、日本技術士会と JABEE は連携を取っていかねばなりません。2008 年には IEA 総会が京都で開催され、日本技術士会と JABEE は共同でホストを務めました。

2010 年 5 月、日本技術士会、日本工学教育協会、JABEE の会長は、海外、特に、東南アジア、東アジアにおける工学系学生・教員・技術士等の人材の流動化に関して情報を共有し、共通認識を持った上で戦略を練るため、3 者覚書に署名しました。国際会議に出席する場合の事前すり合わせはもとより、共同でワークショップ、シンポジウム、セミナーを開催することも視野に入れています。これから技術者教育認定機関、技術士資格認定機関を立ち上げようとしている中国は、日本の現状を学ぶべく 2011 年 11 月に日本に研修団を送ってきます。日本技術士会と JABEE は共同して中国からの研修団に対応する予定です。

2006 年に JABEE 認定プログラム修了生の技術士一次試験免除制度が始まりました。二年後の 2008 年に二次試験に初めて JABEE プログラム修了生の一人が合格し、技術士の資格を獲得しました。翌年の 2009 年には 5 名、2010 年には 24 名と着実にその数を伸ばしています。2010 年度の JABEE 認定プログラム修了生の二次試験合格者の平均年齢は 28.1 歳と一般の合格者（41.5 歳）より非常に若くなっています。最年少合格者は 26 歳でしたが、そのうち 3 名が JABEE 認定プログラム修了生でした。日本技術士会が次の記念となる節目をお迎えになる際には、更なる成果をご報告できることを祈念しつつ、お祝いの言葉とさせていただきます。